

34年、約994億円をかけ終盤を迎える登戸土地区画整理事業。環境変化を踏まえ交通計画の全体像を示し、より良い完成を目指して登戸町会連合会さんと請願書を提出、「趣旨採決」されました！ JR登戸駅下河原踏切の幅員を2m拡幅。

区画整理地内にある現4m道路(登戸小学校の通学路)が狭くて危険だが6m道路に改善されない。安全対策を含め合理的な対応を、との6街区住民のお声から住民説明会を要請。開催し意見交換するも結論は出ず。周辺住民のみならず、交通計画は区画整理事業全体の大問題。住居系マンションが増えているにも関わらず人口増を見込んでいない現状も問題であることから「該当道路の安全対策と登戸全体の交通計画の明確化」という趣旨で、登戸中部町会を経て、登戸町会連合会、登栄会、多摩区身体障害者児団体協議会、等のご賛同を得、請願書を議会に提出。全会派、全無所属議員が署名。まちづくり委員会で「趣旨採決」されました。また、多摩区肢体不自由児者父母の会・石橋会長よりご要望頂いていたJR登戸駅西側の下河原踏切の安全確保を求めています。今年度予算化され、幅員2mの拡幅が実現することとなりました。みなさまの「現場の声」を実現してまいります。



6街区道路



下河原踏切

実現しました

Action 1 川崎市立井田病院が災害拠点病院に！ 多摩病院が全館Wi-Fiに！

吉沢章子通信Vol.21号に掲載した内容が実現しました。

市内6か所の災害拠点病院のうち5か所が浸水想定地域内に立地していることを議会でも指摘し、水害時に水没する危険がない災害拠点病院とし山の上にある井田病院を災害拠点病院とするよう提案。市内7か所目の災害拠点病院として指定され提案が実現し「いのちを守る砦」がひとつ確立しました。また病院の全館Wi-Fi化を議会でも提案。本年4月には多摩病院で実現。コロナ下の厳しい入院生活の質向上に寄与。さらに川崎・井田両病院の全館化を目指します。



市立井田病院

病院名	病床数	浸水しない
聖マリアンナ医科大学病院	1208	○
帝京大学医学部付属溝口病院	400	×
川崎市立多摩病院	376	×
川崎市立川崎病院	713	×
関東労災病院	610	×
日本医科大学武蔵小杉病院	372	×

Action 2 災害時トイレについて広報誌が出来ました

章子通信Vol.23号掲載『備蓄について考えよう』(トイレの備え)が採用されました。

吉沢章子通信Vol.23で特集した「備蓄について考えよう・トイレの備え」をベースに6月議会で質問。地震や水害などで排水管が壊れる→トイレの水は流せない(点検・修理に日数を要する) 停電→トイレの水は流れない(電気制御の機器)などの理由から携帯トイレの備蓄が必須。備蓄は1日にトイレに行く回数×7日間×家族数。使用後の携帯トイレは普通ゴミで回収可。このように①なぜ備えなければならないか②どう備えればよいか③どう廃棄するかを一連の流れとしてワンパッケージで、わかりやすく市民に周知し備えて頂くよう広報することを提案。チラシを作成、ホームページに掲載。各イベントや機関誌など全市的に周知してゆく、との答弁から、このほどチラシが完成、広報が開始!!



広報誌

川崎市HPからもダウンロードできます。
<https://www.city.kawasaki.jp/800/page/0000122885.html>

吉沢章子事務所・プロフィール

214-0014
川崎市多摩区登戸1531 エスポワールII 103
TEL 044-933-8018 FAX 044-933-8032



Facebook

吉沢章子



Instagram

吉沢章子



Youtube

@あっこチャンネル

- S39年 3月14日多摩区に生まれる
- S59年 菊竹清訓建築設計事務所 勤務
- H08年 吉沢章子建築設計事務所 開所
- H15年 川崎市議会議員 初当選
- H29年 川崎市長選挙 出馬
- R01年 川崎市議会議員 5期目当選
- 趣味 サッカー ドライブ 絵を描く 詩を描く 歌を詠む



2022 Vol.24 ecoako

吉沢章子通信

<http://yoshizawa-akiko.jp> 川崎市議会議員 一級建築士

無所属

ごあいさつ

みなさまこんにちは。吉沢章子です。猛暑や豪雨など気候変動を身近に感じる昨今ですが如何にお過ごしでしょうか。先日「私たち現代人の一日に受け取る情報量は江戸時代の一年分、平安時代の一生分」とラジオで聞きました。人類の「進歩」は凄まじいですが「進化」としては1000年前とさほど変わっていないのではないかと、そりゃあ疲れるなあ。と思った次第です。①情報は必要なものを最低限(気象情報など重要なものはしっかり取る)②時々テレビやネットをオフにして情報から解放される時間を意識的に持つ、ということも心身の健康を保つ一助かと思えます。



さて、今号は3月予算審査特別委員会、6月一般質問の質疑を中心とした市政報告です。「いのちを守る政策」の一環として吉沢章子通信Vol.23で特集した「トイレの備蓄」について6月議会で提案、全市的な広報活動が展開されることになりました。また、新たな視点での提案なども掲載しています。ご一読頂き、ご意見ご感想など賜れましたら幸いです。皆さまのお声が政策の種です。是非ご一緒に育て、明るい未来を創ってまいりましょう。

ご一読頂き、ご意見ご感想など賜れましたら幸いです。皆さまのお声が政策の種です。是非ご一緒に育て、明るい未来を創ってまいりましょう。

column column column column column column column column

1. ハザードマップを確認しよう

お住まいの場所だけでなく、学校や職場、よく出かける場所などの災害リスクをハザードマップを使って確認しましょう

国やNHKのサイトから全国の地域が確認できます

国土交通省ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
NHKハザードマップ
<https://www.nhk.or.jp/kishou-saigai/hazardmap/>

川崎市内はこちらから確認できます

川崎市防災ポータルサイト(ハザードマップ)
<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/hazardmap/hazardmap.html>

2. マイタイムラインって知っていますか?

「マイタイムライン」とは
台風や風水害に備えて、一人ひとりの生活状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。
家族構成、立地条件、持病などにより避難する時間や場所、持ち物は違います。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、その時慌てずに行動をとる助けになります。

川崎市のHPでは

チェックシートやマイタイムライン作成シートのほか、作成のポイントを説明する動画も掲載しています。こちらを活用して自分のマイタイムラインを作ってみましょう。
<https://www.city.kawasaki.jp/601/page/0000117993.html>

column column column column column column column column



column column column column column column column column

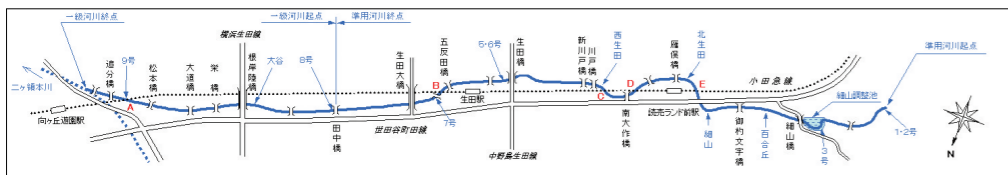
column column column column column column column column

3月予算審査特別委員会・6月一般質問 議会質問報告

「いのちを守る政策」提言が実現！

① 五反田川の治水対策について 上流部の対策に初予算！

吉沢 約30年を要した下流域の放水路整備事業は令和5年度の完成が見えてきた。大作、栗谷、五反田地区を流れる上流部は以前よりその形状から洪水の危険性が高いと指摘。改めて工事の必要性を求めるが？
建設緑政局長 河川改修検討費約680万円を計上。今年度検討に入る。



五反田川流域図



ニヶ領用上河原堰

② 多摩川について 上河原堰の老朽化対策に初予算！

吉沢 布田に位置する上河原堰堤の老朽化（築50年）を指摘し昨年度から改善を求めていたが？
建設緑政局長 今年度予算約1億7000万円で機械・電気施設の更新工事、令和5年度から耐震補強工事を順次予定する。
指摘 国は、令和6年度までに堆積土砂など198万m³の掘削を行うとしているが、調査の結果、令和3年度末で進捗率16%という低調さが明らかに。河川工事は出水期（6月～10月）には行えず、実質あと1年半で100%を達成するのは至難の業。特に多摩区は上河原堰堤と宿河原堰堤に挟まれ土砂が堆積しやすい流域である。砂利の掘削は洪水対策の根幹であり国に強く働きかけるよう市長に要望。

③ 危機事象対策における川崎市の司令塔「危機管理室」について

多様化する災害対策や感染症対策など増大する危機に対し権限の強化を再三提案してきた。今年度ようやく「危機管理本部」（局相当）へ昇格し川崎市の防災力が向上。

④ 防災活動の再開を！

吉沢 まちあるき・マイタイムラインの作成など予算化された防災活動がコロナ下で実現できていない。工夫して行うべき。
危機管理監 感染症対策を踏まえた上で柔軟な発想により防災を考える仕掛けづくりに取り組む。



防災ワークショップチラシ

子どもを守る政策提言が実現！

① 教員から生徒へのハラスメント「ガイドブック」年度内改定へ。ダイジェスト版を先行発行！

吉沢 「教員から生徒へのハラスメント」ガイドラインの見直しについて前議会で指摘。進捗は？
教育次長 文科省は生徒指導提要の改定中。その内容も踏まえて令和4年度中の発行を目指す。一方新年度を迎えるにあたり不適切な関わりの未然防止のために要点をまとめたダイジェスト版を先行して発行する。

② 児童生徒のGIGA端末に虐待など相談窓口の掲載を！

吉沢 「あなたのいばしょ」のSNS相談窓口には「虐待されている親が帰って来る。助けて！」との逼迫した相談も寄せられている。児童生徒がもれなく持っているGIGA端末にLINEやSNSチャットの相談窓口を掲載するべきでは？
教育次長 児童生徒が最適な相談窓口を選択できることが重要。チャット相談・LINE相談のGIGA端末からのアクセスについて検討する。

「子ども若者民生委員児童委員」具現化に向け提案

「NPO法人あなたのいばしょ」理事長、現役大学生大空幸星氏の提案により、国では骨太の方針に同世代同士の支援が明記された。「子ども若者民生委員児童委員」の実現により若者の孤独孤立対策と民生委員の次世代育成という民生委員児童委員の担い手不足の解消にもつながるのではと政策提案。

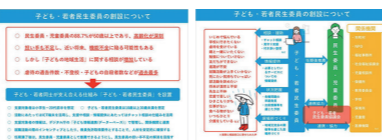
吉沢 制度実現には現場の理解と担い手が必須。若者の行政参加が進む多摩区・幸区で先んじて取組を進める事を提案するが？

多摩区長・幸区長 若者の行政参加を推進するとともに、子ども若者自身が地域生活をどのように支えていくことができるのか、取組が効果的な地域支援につながるよう対話・意見交換を重ねる。

要望 多世代での課題解決は必須。国が制度を示した際、いち早く実現できるよう担当局・区の連携を深めておくこと。川崎市から社会課題の解決を若者×大人の知恵を。市長のリーダーシップを求める。



左:吉沢・右:大空さん



出典：NPO法人あなたのいばしょ

治安について市長と議論。①交番の削減について市にも情報共有を！②特別自治市で警察はどうなる？

神奈川県による交番の削減が進んでいる。幸交番・富士見公園交番が削減された時も市に対して事前の情報提供はなかった。今後の削減計画も示されていない。

①吉沢 削減が噂される地域からご相談があった。戦々恐々とされている。県と計画を共有し、共に市民の安全を守るため連携を深めるよう知事に働きかけるべきでは？

市長 県警察との連携は大変重要。機会を捉えて県や県警察と適切な情報共有を行う。それぞれの役割を果たしながら地域の安全確保に向けて取組を進める。

②吉沢 治安はもとより道路の白線や横断歩道など市民生活に密着する交通部門も警察が担っている。市長は特別自治市の課題として警察を挙げているが、目指す警察の在り方は？

市長 住民に身近な警察事務については地域に関する情報を有する基礎自治体が果たす役割が大きいと考える。一方、広域犯罪への対応に懸念があると国からの指摘もある。政令指定都市市長会と連携し検討を深める。

要望 現場の機動性を高めることはあらゆる事象に対し市民の命を守ることにつながる。二重行政の課題解決も含めリーダーシップの発揮を。

特別自治市とは？ 政令指定都市が県から独立し、市が払う県税を全て市税に、県が担う業務も市に移す大都市制度。川崎市は横浜市、相模原市とともに目指しています。

多摩川をみんなの場に。河川敷「登戸地区広場」の活用について

吉沢 稲田多摩川公園・登戸地区広場が隣接することで相乗効果のある多摩川河川敷。地元との合意形成を軸に進めるべきと指摘。広場の実証実験をするとの前議会での答弁だが進捗と今後は？

建設緑政局長 カワノバ会議を通じて地域との意見交換を実施。バスケットボールやスケートボードなど様々なスポーツやイベント活用の実証実験のため5月に広場の一部を舗装。夏に社会実験を行った上で事業性の検証、管理運営体制など検討する。今後も地域との合意形成を図って進める。



登戸地区広場

「請け負け」が横行する工事契約。「仲裁合意書」の標準添付で弱い立場を守る契約制度を提案！

吉沢 工事などで紛争が生じた場合、裁判と比べ圧倒的に少ない費用で、迅速かつ簡便に紛争解決できる「調停」。そこに進むのに必須な「仲裁合意書」。神奈川県では契約書に標準添付だが、川崎市では添付されていないばかりか、合意書がない事を理由に調停への手続きを打ち切った事例がある。これはほぼ詐欺。標準添付を求める。

藤倉副市長 将来の紛争に関してあらかじめ仲裁合意書を取り交わすことについて事業者との意見交換をもとに慎重に検討してゆく。

指摘 契約上重大な不備と言わざるを得ない。市長は「事業者はパートナー」と言っている。それを実現すべき。

予算審査特別委員会で財政について意見・提言

- ① 委託費は最大のブラックボックス。委託の「中抜き」を圧縮することで相当額を確保できる。精査し安易な支出を正すこと。
- ② 各局に対するシーリング（予算要求の際に財政局が決める基準）の設定が年々厳しく各局の予算が削られている。シーリングより捻出された金額を調べると令和2年度比で3・4年度はなんと20倍。税収減想定が理由だが実際は増収している。削減されるのは新たな挑戦ができる分野。これではますます職員のモチベーションが下がり市民サービスが低下する。令和5年度は見直しを。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
シーリングによる削減額	1億8千万円	32億5900万円	32億2800万円

- ③ 資金調達について。街路樹の更新整備事業費に市債が発行されたことに注目。維持管理費に市債発行はできなかったが、計画を策定し順次更新することで投資的な経費とみなされ市債発行できる。またCO2削減に寄与する政策の市債「グリーンボンド」が好調で完売している。時代を読み発想の転換により「命の経済」に寄与する持続可能な資金調達を。

他の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■「防災教育について」 絵本きぼうのとりとmy減災マップの活用状況について質問。参加した子どもたちの声が素晴らしい。さらなる活用を求める。

■「過熱するラン活について」 ラン活の過熱で戸惑う保護者の声が多く。「ランリック」と呼ばれる安価で軽く使いやすいランドセルの理念と展開について質問する。